

2024. 1. 12

北九州市教職員組合にゆうす



新年明けましておめでとうございます

年が明けてすぐに、北陸の地震、羽田空港の事故そして小倉魚町での火事と、立て続け多くの方々がつらい思いをされることがありました。亡くなられた方には哀悼の意を表すとともに被害にあわれた方々にはお見舞いを申し上げます。



さて、私たち教職員の働き方を左右する「給特法」については、国会で論議が佳境を迎えます。私たちは世論を盛り上げるため、4月までの署名に積極的にとりくみ、「給特法」廃止に向けて一致団結して闘わなければなりません。

パーティー券の裏金問題等、政治の劣化がここまできている状況にとっても不安を感じます。防衛費の増大や敵基地攻撃能力の保持は、平和憲法のあるこの国ではありえないことです。国会無視、国民の声が届かない国になっています。政治を変えるためには、選挙で自公政権に終止符を打つことです。「教え子を再び戦場に送るな」のスローガンのもと、この状況に対して、大きな声を集約しなくてはなりません。

さらに北九州市議会選挙まで1年となりました。市議会に私たちの仲間がいることはとても重要なことです。私たちの代弁者である「小宮敬子」市議（門司区選出）の再選に向けて、皆さんと心をつなげてとりくみをすすめていかななくてはなりません。

最後に、本年度の組合への新規加入が増えています。昨年行った全員集会の成果の一つでしょう。しかし、組織率はまだまだ低いことに変わりはありません。組合加入の多くは、組合員からの声かけです。皆さんの周りの方にまずは「組合に入りませんか」と声をかけてください。

今年も全ての労働者の幸せのために組織拡大・強化にとりくんでいきましょう。

執行委員長 小川耕司



新年 明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

「すべての子どもたちにゆたかな学び」の実現を

昨年末に「こども大綱」が閣議決定されました。この大綱が目指す「こどもまんなか社会」の中に、私たちが子どもたちに伝え続けてきた「ありのままの自分でいいんだよ。」「自分らしく生きることが大切なんだよ。」ということや「子どもの意見表明権や社会参画」など子どもの権利の保障が謳われています。

これから政府のあらゆる施策で「こどもの最善の利益」が保障されることが重要になります。北九州市議会からもしっかりと声をあげていきます。

また北九州市議会では、昨年「子どもの権利条例」作成のために超党派で検討会を続けてきています。この中でも、学校現場のみなさんから伺った「子どもの権利」に関する教育実践や学校で「子どもの権利」を保障するためのとりくみなどを伝え、実効性のある「北九州市子どもの権利条例」をめざしています。

現在、学校を取り巻く現状は、不登校児童・生徒の増加、教員不足、進まない働き方改革・処遇改善など重い課題が多くあります。「すべての子どもたちにゆたかな学び」を実現するためには、子どもたちの一番近くにいる教職員の労働環境の改善なくしては実現しません。みなさんと連帯し学校現場の声をしっかりと訴えて、教職員の労働環境の改善に向けて頑張っていきます。引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

北九州市議会議員 小宮けい子

わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！



///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1

E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL (093) 953-0381

